

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-204539
(43)Date of publication of application : 18.07.2003

(51)Int.Cl. H04N 7/173
G06F 17/60
H04N 5/44
H04N 5/445
H04N 5/45
H04N 5/76
H04N 5/765
H04N 5/781
H04N 7/16

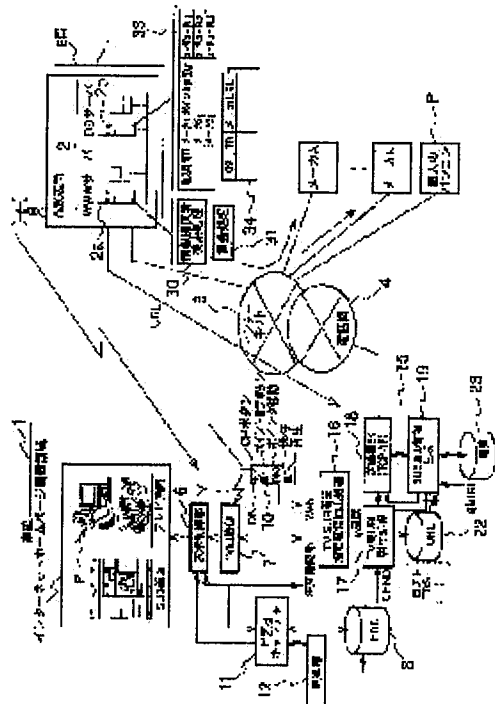
(21)Application number : 2001-401912 (71)Applicant : VICTOR CO OF JAPAN LTD
(22)Date of filing : 28.12.2001 (72)Inventor : NAKAMURA MASAMOTO

(54) VIDEO PROVIDING METHOD AND PROGRAM FOR ACQUIRING DETAILED CONTENTS OF PROGRAM VIDEO IMAGE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system in which viewers, a broadcast station and manufacturers can reduce the cost by using the Internet and making many manufacturers provide details of a video image designated by a viewer among video images displayed on a TV screen.

SOLUTION: A TV station server 2, a video display apparatus 1 of a viewer and many manufacturer servers are connected to the Internet, when the viewer of the video display apparatus points out a video image among video images displayed on the TV screen, the video display apparatus 1 accesses the TV station server 2 having distributed the designated video image to transmit coordinates and the time of the image to the server 2. The TV station server 2 transmits URLs of many manufactures registered in advance and capable of providing an article corresponding to the pointed out contents video image to the image display apparatus 1, which displays the URLs on a SUB screen, the viewer selects any of them, and directly receives provision of the home page of the manufacturer.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.03.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

(11)特許出願公開番号

特開2003-204539

(P2003-204539A)

(43)公開日 平成15年7月18日(2003.7.18)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データベース [*] (参考)
H 0 4 N 7/173	6 4 0	H 0 4 N 7/173	6 4 0 A 5 C 0 2 5
G 0 6 F 17/60	3 3 2	G 0 6 F 17/60	3 3 2 5 C 0 5 2
	5 0 2		5 0 2 5 C 0 5 3
H 0 4 N 5/44		H 0 4 N 5/44	A 5 C 0 6 4
5/445		5/445	Z

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 13 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-401912(P2001-401912)

(22) 出願日 平成13年12月28日(2001. 12. 28)

(71)出願人 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

(72)発明者 中村 将基

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番
地 日本ビクター株式会社内

(74) 代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外8名)

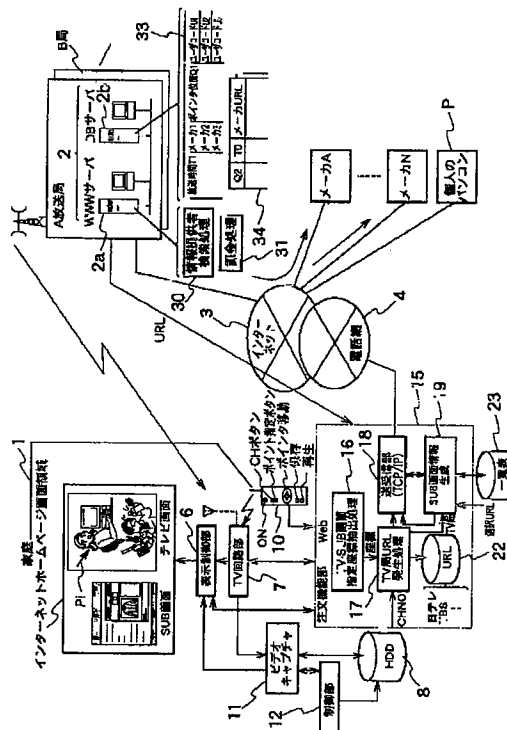
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 映像提供方法及び番組映像のコンテンツ詳細取得プログラム

(57) 【要約】

【課題】 インターネットを用いて、TV画面に映し出された映像の中で視聴者が指定した映像については、その詳細を多数のメーカから提供させることで、視聴者、放送局、メーカ双方にとってコストを低減できるシステムを得る。

【解決手段】 インターネットにTV局サーバ2と、視聴者側の映像表示装置1と多数のメーカサーバとを接続し、映像表示装置1がTV画面に表示された映像の内でポイント指定されたとき、その映像を配信したTV局のサーバ2にアクセスして画面の座標、時刻を送信する。TV局のサーバ2はポイント指定されたコンテンツ映像の商品を提供できる予め登録された多数のメーカのURLを画像表示装置1に送信して、SUB画面に表示させていずれかを選択させて、そのメーカから直接、ホームページの提供を受ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 番組映像提供局側から送信された映像を視聴者端末が受けてTV画面に表示し、かつこの視聴者端末がコンピュータネットワークを用いて前記TV画面の視聴者が興味を持ったものに関するホームページを画面に表示させて、番組内の映像コンテンツに関する詳細情報を提供する映像提供方法であって、前記視聴者側端末においては、TV画面に映し出されている現画面内のコンテンツ映像が指定される毎に、その画面内の指定座標情報及び現在時刻、チャンネルを画面ポイント情報として順次、抽出して保存するステップと、前記視聴者が要求したとき、前記保存している多数の画面ポイント情報の詳細情報を提供できる全てのサイトのホームページを表示可能とするための多数のサイトのURLコードを、前記番組映像提供側から前記コンピュータネットワークを介して提供させて保存するステップと、前記番組映像提供局から提供された多数のサイトのURLを表示させて、該サイトのホームページの提供を前記コンピュータシステムを用いて促すステップとを有することを特徴とする映像提供方法。

【請求項2】 前記視聴者側端末にあつては、前記画面に多数のサイトのURLの選択を促し、該選択されたとき、そのサイトに対して所定の課金を行わせるために前記番組提供局にその選択情報を前記コンピュータネットワークを介して送信するステップとを有することを特徴とする請求項1記載の映像提供方法。

【請求項3】 前記視聴者側端末にあつては、前記TV画面のコンテンツ映像が指定される毎に、前記画面ポイント情報を前記コンピュータネットワークを介して前記番組映像提供局に送信し、該番組映像提供局からは1コンテンツ映像に対する前記詳細情報を提供可能の多数のサイトのURLを提供させるステップとを有することを特徴とする請求項1又は2記載の映像提供方法。

【請求項4】 前記視聴者側端末にあつては、ハードディスクを内蔵し、録画指示の入力に伴って、前記TV画面の映像を予め設定された時間だけ前記ハードディスクに保存する手段と、再生の指示を入力したとき、前記ハードディスクの保存映像を再生してTV画面に表示させ、停止、巻き戻しの指示を入力したとき、該映像を停止、巻き戻しさせるステップとを有することを特徴とする請求項1乃至3記載の映像提供方法。

【請求項5】 前記番組映像提供局は、各放送局とインターネットで接続されたサイトであり、該サイトは、前記インターネットで各視聴者の映像表示装置に接続され、前記視聴者の映像表示装置からは、チャンネル番号と現

在時刻、画面の前記指定座標情報とを送信させ、前記チャンネル番号の放送局の前記サーバに前記インターネットを介して割り振るステップとを有することを特徴とする請求項1乃至4記載の映像提供方法。

【請求項6】 番組映像提供局側から電波で送信された映像を視聴者端末が受けてTV画面に表示し、かつこの視聴者端末がコンピュータネットワークを用いて前記TV画面の視聴者が興味を持ったものに関するホームページを画面に表示させる番組映像のコンテンツ詳細取得システムに用いられるプログラムであって、TV画面に映し出されている現画面内のコンテンツ映像が指定される毎に、その画面内の指定座標情報及び現在時刻、チャンネルを画面ポイント情報として順次、抽出して保存する手段と、前記視聴者が要求したとき、前記保存している多数の画面ポイント情報の詳細情報を提供できる全てのサイトのホームページを表示可能とするための多数のサイトのURLコードを、前記番組映像提供側から前記コンピュータネットワークを介して提供させて保存する手段と、前記番組映像提供局から提供された多数のサイトのURLを表示させる手段として機能させるための番組映像のコンテンツ詳細取得プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、現在の放送（動画）の映像内にある、あらゆる物に対してインターネットホームページ等の情報のリンクを張る技術で、動画ハイパーリンクに相当するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、テレビ放送はアナログ地上波とCS/BSデジタル放送があり、アナログ地上波は送られた放送の映像・音声のみから情報を得るものである。CS/BSデジタルはチャンネルの多重化による主ストリームの他に他のコンテンツを送信する。

【0003】また、近年はネットワークにコンピュータを接続してテレビ放送を受けることも可能である。

【0004】このような場合は、双方向性が可能であるので、放送の映像・音声の他に、その放送に関する他の情報やアンケートなどの視聴者のリクエストをコンピュータの分割画面へ表示させ、情報の提供量を増やしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、アナログ地上波放送に対しては、映像・音声しか情報がなく、興味を持って詳しく知りたいと思っても、現在のTV装置だけでは調べられない。このため、いろいろな方法を使って希望の商品の情報を調べているのが現状である。

【0006】また、CS/BSデジタル放送は、放送局側がその放送用にコンテンツを作成することにより、放送局側の意図に沿ったコンテンツを半強制的に提供し

ている。

【0007】さらに、ネットワークにコンピュータを接続してテレビ放送を受けるようなシステムにおいては、分割画面にもつばらアンケート等のための画面を表示させるだけである。

【0008】このため、視聴者がTVを見ているときに、欲しい商品があって、その商品の詳細情報を直ぐに得たいとしても知ることができないので、アナログ地上波と同様に他の方法を用いて調べなければならない。

【0009】この課題をインターネットとTV放送をうまく連携させることにより、解決することを目的とする。

【0010】すなわち、近年普及しているインターネットを用いて、TV画面に映し出された映像の中で視聴者が指定した映像については、その詳細を多数のメーカから提供させることで、視聴者、放送局、メーカ双方にとってコストを低減できるシステムを得る。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明の映像提供方法は、番組映像提供局側から送信された映像を視聴者端末が受けてTV画面に表示し、かつこの視聴者端末がコンピュータネットワークを用いて前記TV画面の視聴者が興味を持ったものに関するホームページを画面に表示させて、番組内の映像コンテンツに関する詳細情報を提供する映像提供方法である。

【0012】前記視聴者側端末においては、TV画面に映し出されている現画面内のコンテンツ映像が指定される毎に、その画面内の指定座標情報及び現在時刻、チャンネルを画面ポイント情報として順次、抽出して保存するステップと、前記視聴者が要求したとき、前記保存している多数の画面ポイント情報の詳細情報を提供できる全てのサイトのホームページを表示可能とするための多数のサイトのURLコードを、前記番組映像提供側から前記コンピュータネットワークを介して提供させて保存するステップと、前記番組映像提供局から提供された多数のサイトのURLを表示させて、該サイトのホームページの提供を前記コンピュータシステムを用いて促すステップとを備えたことを要旨とする。

【0013】また、前記番組映像提供局は、前記視聴者端末から前記コンピュータネットワークを介して前記指定座標、現在時刻とを受信したとき、これらの情報に対応されているサイトのURLを抽出して前記コンピュータネットワークを介して前記視聴者端末に提供すると共に、該提供毎に所定の料金を前記サイトに課金するステップとを備えたことを要旨とする。

【0014】

【発明の実施の形態】＜実施の形態1＞本発明の実施形態1は、テレビ放送とインターネットのホームページとを連携させ、テレビジョンにリアルタイムで表示される映像情報にプラスαの情報としてホームページの情報を

付加させる動画ハイパーリンクとしての機能を果たすシステムである。

【0015】このシステムは映像表示装置側1（ソフトウェアの部分とハードウェアの部分）と放送局（単にTV局と称する場合もある）のサーバ2（サーバシステム部分）等をインターネット3、電話網4（総称して単にネットワークともいう）に接続して構成している。また、ネットワークには、詳細情報を提供するメーカA、B、…、個人のパソコンPが接続されている。

【0016】前述の映像表示装置1は、図1に示すように、表示部20に以下の構成を備えたもので、ハードウェアの構成は表示制御部6とTV回路部7等の他に、新たにインターネット接続部（図示せず）と、ハードディスク8と、CPU（図示せず）及びメモリ（図示せず）と、リモコン10（もしくはタッチパネル画面：本実施の形態ではリモコン）と、ビデオキャプチャ11と、制御部12等からなる。

【0017】そして、ソフトウェアは、図1に示すように、注文機能部15である。この注文機能部15は、web上で動作するような形式で構成され、少なくともTV・SUB画面指定座標抽出処理16と、TV局URL発生処理17と、送受信処理18とSUB画面情報作成処理19等を備えている。

【0018】また、リモコン10は、TV回路部7及び注文機能部15、制御部12を動作させて各種動作を行わせる多数のボタン（電源オン、チャンネル選択、ポイント指定、ポイント移動、保存、停止、再生等）を備えている。

【0019】また、注文機能部15のTV・SUB画面指定座標抽出処理16は、リモコン10のオンボタンの操作で起動し、図1に示すようにTV画面エリアとSUB画面エリアとに分けた表示を表示制御部6によって表示させる。

【0020】そして、リモコン10のポイント指定ボタンの押下に伴ってポイントPiを表示制御部6を用いて所定場所（TV画面）に表示させる。

【0021】そして、例えば再びポイント指定ボタンが押下されたとき、TV回路部7から表示部20に表示している現在のチャンネルと、現在時刻とポイント位置Qiとを読み、これらをTV局URL発生処理17に知らせる。

【0022】また、ポイントPiを表示させているときリモコン10のポイント移動キー（上、下、右、左）が選択されると、その移動キーの押下時間だけポイントPiを移動させる。

【0023】また、SUB画面情報生成処理19は、送受信処理18によって受信されたメーカのホームページ（ポイントPiに対応）をSUB画面に表示させ、選択された（注文ボタンで選択）商品をダイヤルアップ処理18を用いてメーカ側に送信させる。

【0024】この注文商品情報は、ユーザの電話番号、氏名、住所、商品名、アドレス、数量等からなる。

【0025】さらに、SUB画面情報生成処理19は、ホームページで商品名が選択されると、その個数と商品名とをファイル23に保存し、リモコン10の一覧表表示のキー押下に伴ってファイル23の一覧表をSUB画面に表示させる。

【0026】つまり、一度、分割された画面に表示されたホームページは、このシステムのメモリにアドレスと商品名等が記憶され、一覧表として分割画面に表示される。その一覧表を選択することにより過去に閲覧したホームページを分割画面に表示してメーカにアクセスさせることが可能となっている。

【0027】TV局URL発生処理17は、TV・SUB画面指定座標抽出処理16によって、ポインタ位置Piが知らせられる毎に、現在のチャンネルをTV回路部7から読み出し、ファイル22に予め記憶させているTV局のサーバのURL（日本テレビのサーバのURL、TBSのURL、……）を送受信処理18を用いてインターネットを介してTV局2にアクセスして現在時刻とポインタ位置Piとユーザコードとを送信する。

【0028】また、放送されている映像の動きが速く、リモコン10による指定操作が困難な場合は、リモコン10を操作してハードディスク8を保存させる。

【0029】つまり、制御部12がリモコン10の保存ボタンの押下を受信すると、ビデオキャプチャー11を用いてTV回路部7から映像信号を取り出して、これを圧縮（MPEG、JPEG）してHDD8に保存（予め設定されている時間だけの保存でもよい）する。また、映像の録画のほかに、表示チャンネルと映像された時間をメタ情報として一緒に保存してもよい。

【0030】さらに、制御部12はリモコン10の再生キー、スロー再生等の操作を受信したときは、ビデオキャプチャー11を用いてHDD8から映像データを読み出させて解凍させ、これお表示させる。

【0031】一方、TV局2側は、WWWサーバ2aとDBサーバ2b等を備えている。つまり、インターネット経由でHTTPプロトコルにより視聴者からリクエストされるため、放送局の構成は、WWWサーバ+データベースサーバの連携でシステムを構成している。

【0032】前述のWWWサーバ2aは、情報提供者検索処理30と課金処理31等を備えている。

【0033】メーカ検索処理30は、時間と座標をインターネット経由から受取り、事前にDBサーバ2bで保存している後述するホームページテーブル33を検索し、検索結果として、視聴者が選択した映像の詳細があるホームページのアドレス（メーカURL又は個人のパソコンのアドレス）を映像表示装置1へインターネット経由で返送する。

【0034】また、メーカ検索処理30は、視聴者側か

らの座標を受信したときテーブル33の他のレコードの座標と重なっている場合は、そのレコードの優先度を確認し、優先度の高いほうのURLを提供する。

【0035】つまり、映像内では対象物同士が部分的に重なっている場合がある。その場合は、ホームページテーブル33の優先順位を参照して優先順位の高い対象物（メーカのURL）を特定する。

【0036】課金処理31は、メーカ検索処理30によってURLが検索される毎に、カウントし、放送時間とメーカURLとにカウント値を対応させた課金用テーブル34に保存し、一定期間経過したとき、同一URLコードのカウント値をカウントし、このカウント値に応じた金額をホームページテーブル33の課金料金を参照して求め、情報提供者（メーカ、個人）に課金する。

【0037】また、優先度に基づいて、URLを選択したときは、通常のカウント値（例えば、2ポイント（時間帯に応じて相違する）に1ポイント（時間帯に応じて相違する）を加算する。

【0038】図2は放送局側のDBサーバ2bのホームページテーブル33の説明図である。図2に示すように、映像（1画面に映し出されている1コンテンツ（洋服、宝石、時計、カメラ等）の放送開始時間Aとその1コンテンツの一画面における終了時間Bとに、提供メーカのURLコードが対応づけられている。また、表示部20の画面の座標（X、Y）が対応させられている。この提供メーカは放映時間毎、座標毎に複数存在している。

【0039】この座標は、画面の1コンテンツ映像（商品）の座標範囲であり、例えばサッカー選手が着ているシャツの座標範囲を示している。この座標範囲は、画面の1コンテンツ映像の座標X1X2、Y1Y2の2点であり、エリアの対角座標である。また、各レコードには優先順位と課金金額とが対応させられている。

【0040】上記のように構成されたシステムについて図3のシーケンス図を用いて以下に説明する。

【0041】ユーザである視聴者はリモコン10を用いてテレビ回路部7をオンにする（d1）。このONに伴ってTV回路部7は現在設定されているチャンネル画像を表示部に表示させる。このとき、SUB画面エリアを設けて表示する。

【0042】また、リモコン10のホームページボタン（図示せず）が選択されたときは（d2：図4のS1）、ROMより、本注文機能のプログラムをRAMにロードして、注文機能部を起動させる（図4のS2）。

【0043】TV・SUB画面座標指定処理16は、画面の所定箇所にポインタPiを表示させる（図4のS3）。このTV画面に表示された画像上において、視聴者が興味のあるコンテンツ映像（1画面におけるカメラ、宝石等の映像）があるときは、リモコン10を操作してポインタPiを移動させる（図4のS4）。

【0044】次に、視聴者は画面上の商品範囲を定め（図5を参照）、リモコン10をポイント指定ボタンを押下する（d3）。この押下信号をTV・SUB画面指定座標抽出処理16が受けて、画面において定められた範囲の座標（ X_i 、 Y_i ：それぞれ2点）を表示制御部6から取得してTV局URL発生処理17に選択ポイント情報として渡す（図4のS5）。

【0045】TV局URL発生処理17は、選択ポイント情報の受信に伴って、TV回路部7から現在選択されているチャンネルを取得し（図5のS6）、かつOS部（図示せず）から現在時刻を取得して（図4のS7）、TV局URLコードをファイルから取得する（図4のS8）。

【0046】つまり、その抽出したチャンネルと時間と画面の絶対座標をもとに、表示チャンネルにより各放送局のURLに変換してクリックされた時間と座標を次のようなURLを作成する。

【0047】例えば、

`http://db.fujitv.co.jp/tv /kensaku.cgi?time=193120&x=120.0&y=142.5`

このURLをインターネット接続装置を利用し、放送局のサーバへアクセスする（d4、図4のS9、S10）。

【0048】放送局のWWWサーバ2aは、受信した前記のURLを用いてDBサーバ2bに商品提供のメーカのURLをリクエストする（d5、図6のS20、S21、S22）。

【0049】メーカ検索処理30は、DBサーバ2bのホームページテーブル33を検索して（図6のS23）、受信したURLの座標、時間情報に対応するメーカのURL（該当データ）が存在するかどうかを判断する（図6のS24）。このとき、映像表示装置1の画面は、様々なサイズがあるので、映像表示装置1側から画面サイズをTV局のURLと共に送信させ、ホームページテーブル33の座標を作ったときの基準画面に合わせた座標変換を行った後に、ホームページテーブル33を検索するのが好ましい。また、前述のホームページテーブル33は、当日又は前日の番組表と、メーカからのコマーシャル配信要求に基づいて作成している。

【0050】次に、ステップS24で存在する場合は、そのURLが表示されるHTMLを作成して映像表示装置1に送信する（d6、図6のS25）。

【0051】また、ステップS24で、該当のメーカのURLが存在しない場合は、URLが存在しないことを案内するHTMLを作成して映像表示装置1に送信する（d7、図6のS26）。

【0052】一方、TV局から視聴者が指定した映像のメーカのURLを映像表示装置1が受けると、図4に示すように、SUB画面情報生成処理19が表示制御部6を用いてSUB画面に表示させる（図4のS11）。こ

のSUB画面に表示されるURLは、TV局からのURLが複数の場合は図7（a）に示すように、複数のURLが表示される。

【0053】そして、視聴者はサブ画面から希望のメーカのURLを選択してインターネットへアクセスする（図4のS12）。すなわち、視聴者がTV画面から選択した1画面のコンテンツ（映し出されている映像（例えばカメラ））を選択すると、この映像（カメラ）を販売する情報提供者（メーカ）のURL（例えばTV局に登録したメーカ）が複数表示され、その中から希望のメーカを視聴者が選択する。

【0054】この選択したURLのメーカ名をSUB画面情報生成処理19が読み込んで、送受処理を用いてTV局のサーバに送信させる（d8）。

【0055】TV局のWWWサーバ2aは選択したメーカ名をDBサーバ2bの課金テーブル34に登録する（d9）。

【0056】また、SUB画面情報生成処理19は、視聴者がSUB画面で選択したメーカのURLをインターネットに送信する（d10、図4のS12）と共に、メモリにこのメーカのURLを保存する。

【0057】メーカのwwwサーバ2aは、映像表示装置1側からのリクエスト要求に応じたホームページを送信する（d11）。装置1はブラウザ機能で図7（b）に示すようにSUB画面に表示させる（S13）と共に、メモリにこのメーカのURLを保存する（S14）。

【0058】視聴者はSUB画面に表示された商品から希望のものを選択し（d12）、装置1はそのメーカのWWWサーバに商品情報を送信する。

【0059】一方、放送局のWWWサーバの課金処理は一定期間毎に課金テーブルを参照して、アクセス回数をカウントし、そのカウント値に応じた料金を求めて（d14）、メーカのWWWサーバを用いて請求する（d15）。

【0060】従って、TV局側は映像表示装置1に、1コンテンツ映像に対して多数のメーカのURLを送信して、いずれを選択させている。つまり、1コンテンツ映像が例えばシャツであれば、そのシャツと同じようなシャツを提供できるメーカが多数あることを視聴者に知らせているので、放送局側にとっては1コンテンツに対してのコマーシャル料をこれらの会社で分担させることになり、各メーカともコマーシャル料の低減に繋がる。

【0061】また、視聴者側でも1コンテンツ映像（シャツ）を選択したときに、1メーカだけでは無く、様々なメーカがあることがわかるので、気に入ったメーカのものを選択できる。

【0062】（保存、再生）放送されている映像の動きが速く、リアルタイムにリモコンによる操作が困難な場合は、ハードディスクを備えているので、図8に示すよ

うに、電源が入電された時点で、TV回路のONを行って、OS部を起動させる(S30、S31)。そして、録画ボタンの押下に伴って、制御部12がビデオキャプチャ11を動作させて、TV回路部7から現在画面に表示されているTVの映像信号をハードディスク8に保存させる(S33)。

【0063】つまり、制御部12は図8に示すように、録画ボタンの押下に伴って、予め設定されている時刻に基づいて、チャンネル番号の映像をHDD8に保存する(S35)。そして、リモコン10が停止ボタンを押下したときは、ビデオキャプチャ11を用いて録画停止させる(S37)。

【0064】そして、再びリモコン10を操作して巻き戻して停止させて、ポインタ指示ボタンを用いてTV画面の映像から希望のコンテンツを選択する(S39)。

【0065】このポインタ指示ボタンの押下によって上記と同様に現在時刻とチャンネル番号とポインタ指定の範囲座標とがTV局URL発生処理17に渡されて、TV局からメーカのURLコード(複数メーカ)が渡されて、メーカ側(1社)からホームページで提供される。

【0066】<実施の形態2>本発明の実施形態1は、TV画面に表示された番組映像の各コンテンツ映像(例えば、ドラマの俳優が身につけているピアス、シャツ等又は背景の映像)の選択に伴って、その場面の画面の座標、時間、チャンネル番号等の画面ポイント情報を選択毎に保存する。

【0067】そして、後でこの保存された1画面ポイント情報毎に、これらの商品を提供できるTV局に登録されている各メーカ(個人でもよい)のURLの提供を受けて、これらのURLを用いて視聴者が希望の商品を注文する。

【0068】また、TV局側は、これらのURLの提供時にメーカに対して所定の課金を行う。

【0069】このシステムは実施の形態と同様に、映像表示装置側1(ソフトウェアの部分とハードウェアの部分)と放送局のサーバ2(サーバシステム部分)等をインターネット3、電話網4(総称して単にネットワークともいう)に接続して構成している。また、ネットワークには、詳細情報を提供するメーカA、B、…、個人のパソコンPが接続されている。

【0070】前述の映像表示装置1は、図9に示すように、指定座標抽出処理41と、画面ポイント情報用ファイル42と、SUB画面生成処理43等を備えている(実施の形態1と同様なものについては説明を省略する)。

【0071】前述の指定座標抽出処理41は、リモコン10の注文機能オンボタン(図示せず)の操作で起動し、リモコン10のポイント指定ボタンの押下に伴ってポインタPiを表示制御部6を用いて所定場所(TV画面)に表示させ、再びポイント指定ボタンが押下された

とき、TV回路部7から表示部20に表示している現在のチャンネルと、現在時刻と、座標(ポインタ位置Qi)とを読み、これを画面ポイント情報として画面ポイント情報用ファイル41に保存する。この保存は1画面毎に区分けされて保存される。

【0072】また、ポインタPiを表示させているときリモコン10のポイント移動キー(上、下、右、左)が選択されると、その移動キーの押下時間だけポインタPiを移動させる。

【0073】さらに、指定座標抽出処理41は、ポイント指定ボタンの再押下に伴って、TV画面の映像を保存させる指示を制御部12aに送出する。

【0074】TVURL発生処理17aは、リモコン10の注文用URLコードボタン(図示せず)の押下に伴って、ファイル42に保存されている1画面当たりの多数の画面ポイント情報を読み、この画面ポイント情報が示すチャンネル番号に対応するTV局のURLをファイル22から読み、画面ポイント情報とそのTV局URLとを送受信処理18に渡してTV局に送信させる。

【0075】SUB画面生成処理43は、注文用URLコード表示要求ボタンの押下に伴って、SUB画面エリアをTVエリアとを表示部20の画面に設け、再生画面をTVエリアに表示させる指示を制御部12aに指示する。また、送受信処理18がTV放送局側からのメーカURLを受信したとき、そのメーカURLはSUBエリアの上部に表示させ、メーカからのホームページはブラウザ機能を用いてSUB画面の中央から下部の範囲に表示させる。

【0076】一方、TV局2側は、上記の実施の形態1と同様にWWWサーバ2aとDBサーバ2b等を備えている。

【0077】前述のWWWサーバ2aは、メーカ検索処理30aと課金処理31a等を備えている。

【0078】メーカ検索処理30aは、視聴者側の映像表示装置1からの多数のメーカURLリクエスト情報(現在時刻とポイント指定の座標)をインターネット経由で受取る。

【0079】そして、メーカ検索処理30aは、多数のメーカURLリクエスト情報を受け取り、それぞれのメーカURLリクエスト情報に対応するメーカURLがホームページテーブル33の存在するかどうかを判定し、存在した全てのメーカURLを映像表示装置1へインターネット経由で返送する。

【0080】課金処理31は、実施の形態1と同様にメーカ検索処理30aによってURLが検索される毎に、カウントし、放送時間とメーカURLとにカウント値を対応させた課金用テーブル34に保存し、一定期間経過したとき、同一URLコードのカウント値をカウントし、このカウント値に応じた金額をホームページテーブル33の課金料金を参照して求め、メーカに課金する。

【0081】また、優先度に基づいて、URLを選択したときは、通常のカウンタ値（例えば、2ポイント（時間帯に応じて相違する）に1ポイント（時間帯に応じて相違する）を加算する。

【0082】図10は実施の形態2のコンテンツ受発注システムの動作を説明するシーケンス図である。

【0083】ユーザである視聴者はリモコン10を用いて現在設定されているチャンネル画像を表示部20に表示させ（d20）、リモコン10の注文機能ボタンの操作によってROMより、本注文機能のプログラムをRAMにロードして、注文機能部40を起動させる（d21）。注文機能部40の指定座標抽出処理41は、画面の所定箇所にポイントP_iを表示させる。視聴者は興味のあるコンテンツ映像（1画面におけるカメラ、宝石等の映像）があるときは、リモコン10を操作してポイントP_iを移動させる。

【0084】次に、視聴者は画面上の商品範囲を定め（図5を参照）、リモコン10のポイント指定ボタンを押下する。この押下信号を指定座標抽出処理16が受けて（d22）、画面において定められた範囲の座標（X_i、Y_i：それぞれ2点）を表示制御部6から取得すると共に、現在のチャンネル番号と現在時刻とを抽出して、画面ポイント情報としてファイル42に保存する。このような操作をポイント指定ボタンが押下される毎に実施する（d23a…d23n）。そして、保存は1画面毎又は1番組毎に区別して保存する。

【0085】また、このポイント指定ボタンの押下に伴って制御部12aに対して保存指示を行う。すなわち、HDD8には現在の画面（ポイントP_iを含む）が保存されることになる。

【0086】次に、リモコン10から注文用URLコードの表示要求があるときは（d24）、TV局URL発生処理17aがファイル42に区別して保存している画面ポイント情報群を読み、このチャンネル番号に対応するTV局URLをファイル22から抽出してインターネットを用いてTV局のサイトにアクセスする（d25）。この注文用URLコードの表示要求は、リモコン10の再生ボタンを押下してHDDの画像を再生し、その後に希望の場で停止させて行うのがよい。

【0087】次に、TV局URL発生処理17aは、注文用URLコードを受けると、ファイル42の画面ポイント情報群（1画面分、番組分）をインターネットを用いてTV局に送信する（d26）。

【0088】このとき、SUB画面生成処理43は、SUB画面エリアをTVエリアとを表示部20の画面に設け、再生画面をTVエリアに表示させる指示を制御部12aに指示する。

【0089】一方、TV局のWWWサーバ2aのメーカ検索処理30aは視聴者側の映像表示装置1からの多数の画面ポイント情報（現在時刻とポイント指定の座標）

を受け取り、それぞれの画面ポイント情報に対応するメーカURLがDBサーバ2bのホームページテーブル33の存在するかどうかを判定し、存在した全てのメーカURLを順次、DBサーバ2bから抽出する（d27a、…27n）。

【0090】メーカ検索処理30aは、抽出した全てのメーカのURLを一時保存してインターネット経由で映像表示装置1へ送信する（d28）。

【0091】課金処理31は、実施の形態1と同様にメーカ検索処理30aによってURLが検索される毎に、カウンタし、放送時間とメーカURLとにカウンタ値を対応させた課金用テーブル34に保存し、一定期間経過したとき、同一URLコードのカウンタ値をカウンタし、このカウンタ値に応じた金額をホームページテーブル33の課金料金を参照して求め、メーカに課金する。

【0092】次に、多数のメーカのURLを受信すると、SUB画面生成処理43がSUB画面エリアに多数のメーカURLを表示させる。

【0093】そして、視聴者はSUB画面の中から希望のメーカを選択すると、SUB画面生成処理43はその選択したメーカ名を放送局にインターネットで送信する（d29）。放送局の課金処理はメーカ名が送信されると、そのメーカ名に対応する課金テーブルのカウンタ値を更新し、更新値をDBサーバ2の課金テーブルに書き込む（d30）。つまり、視聴者に選択されたメーカURLに対しては、メーカに別に課金する。

【0094】一方、SUB画面生成処理43は、SUB画面に表示したメーカURLが選択されると、このメーカURLを用いて直接メーカにアクセスしてホームページの提供を受ける（d31、d32、d33、d34）。SUB画面生成処理はこのホームページをSUB画面に表示する（図12を参照）。

【0095】従って、例えば1画面（又は1番組）において、視聴者が指定した多数の商品を提供できるメーカのホームページをTV局から提供させることができ、かつTV局においては、一番組、一画面において多くのメーカの参入を促すことになる。

【0096】なお、上記実施の形態では、メーカ検索処理、課金処理、各テーブルをTV局側に設けたが、映像表示装置1に設けてもよい。

【0097】例えば、CS/BSデジタル放送を受信可能な映像表示装置1の場合は、TV局側が番組のストリームの他に注文機能部15のプログラムを暗号化して送信する。すなわち、映像表示装置1は、リモコン10の操作によって、表示部20にTV画面とサブ画面とを表示させ、TV画面におけるポイントP_iで指定された1コンテンツ映像の座標範囲、チャンネル番号、現在時刻を送信したTV局に送ることになる。

【0098】また、放送局側からはメーカ検索処理30とカウンタ処理（図示せず）とをホームページテーブル

33 (但し、課金料は送信しない) とを送信してもよい。

【0099】このようにすると、表示部20のTV画面の1コンテンツ映像の選択に伴って、直ちにメーカのURLを検索して直接メーカにアクセスしてホームページの提供を受ける。

【0100】そして、カウント処理は、コンテンツ映像が選択されて、SUB画面のメーカのURLが選択される毎にカウントし、メーカのURLに対応させてこのカウント値を記憶する。そして、一定期間 (例えば1月) が経過したときに、累計のカウント値をTV局側に送信して、TV局側が実際のメーカに課金する。

【0101】また、上記実施の形態では、TV画面の1コンテンツ映像が指定される毎に、その番組を配信したTV局にアクセスするとしたが、放送業界で1つの送信先 (サーバ) を決め、そこから各放送局にメーカへの課金料を振り分けるようにしてもよい。

【0102】また、視聴者が興味を持った映像に対して情報の提供が無い場合は、メインの放送内容の情報を提供するか、何も表示しないかは視聴者側で選択できる機能を映像表示装置1は備えている。

【0103】さらに、視聴者が興味を持ったものが同じ対象物を選択した場合、その対象物がいくつかのホームページサイトを持っている場合や、同じサイトでもいろいろな情報がある場合、サーバの検索条件により、一度表示されたホームページではなく違うホームページを表示することや映し出されているシーン別に違うページをメーカが提供してもよい。

【0104】なお、上記実施の映像表示装置1の注文機能部は、TV装置やVIDEO装置パソコンに内蔵してもよい。また、単体装置として他の映像表示装置と接続してもよい。

【0105】

【発明の効果】以上のように本発明の映像表示装置によれば、TV画面に表示した1画面のコンテンツ映像を指定したとき、指定毎にこの画面ポイント情報を保存し、視聴者からの要求によって、これらの指定されたコンテンツ映像に対応する詳細情報 (例えば商品) を提供可能な多数のサイトのURLが表示させ、これらのサイトのURLが選択されたとき、コンピュータネットワークを介してそのサイトのホームページを表示する。

【0106】このため、視聴者は動画を見て、後で希望のサイトのホームページを得ることができる。つまり、視聴者はTV放送で実映像・音声以外にプラス α な情報を後で取得できる。また、視聴者はリクエストした情報のみを得ることができるため、情報提供の効率化が出来る。

【0107】また、番組映像提供装置がTV局の場合は、1つのコンテンツのCMに対して多数のメーカが存在することになるから、メーカ側ではCMシ

ャル代のコストが低減できる。

【0108】また、放送局はリクエストされた物や人物などを何回クリックされたか等のアカウント情報を入手できるため、タイアップされた商品や人物などの興味や人気がわかるため、マーケティング情報として大いに役に立つ。

【0109】また、映像に映し出されるすべてのものに情報を付加できるので、タイアップとしての宣伝効果が大幅にあがりあらゆる物に対して、タイアップの契約ができる可能性がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施の形態1の映像コンテンツ受発注システムの概略構成図である。

【図2】実施の形態のホームページテーブルの説明図である。

【図3】実施の形態の動作を説明するシーケンス図である。

【図4】本実施の形態の映像表示装置の動作を説明するフローチャートである。

【図5】ポイント指定の座標範囲を説明する説明図である。

【図6】本実施の形態の放送局側の動作を説明するフローチャートである。

【図7】本実施の形態のSUB画面の推移を説明する説明図である。

【図8】本実施の形態の映像表示装置の再生、録画を説明するフローチャートである。

【図9】本実施の形態2の映像コンテンツ受発注システムの概略構成図である。

【図10】実施の形態2の動作を説明するシーケンス図である。

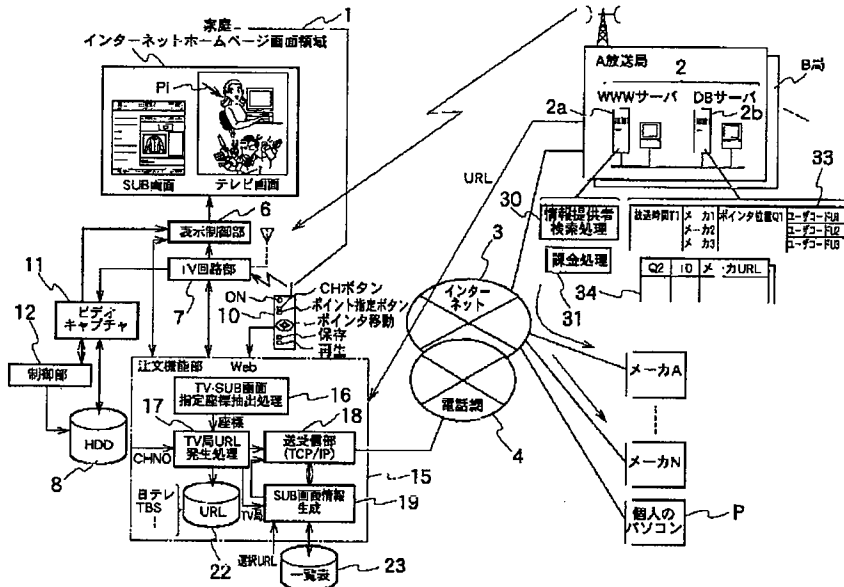
【図11】実施の形態2の動作を説明するシーケンス図である。

【図12】本実施の形態2の画面例を説明する説明図である。

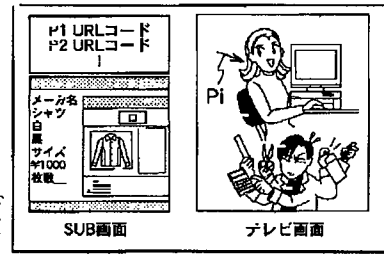
【符号の説明】

- 1 映像表示装置
- 2 放送局のサーバ
- 3 インターネット
- 6 表示制御部
- 7 TV回路部
- 10 リモコン
- 11 ビデオキャプチャ
- 12 制御部
- 15 注文機能部
- 16 TV・SUB画面指定座標抽出処理
- 17 TV局URL発生処理
- 18 送受信処理
- 19 SUB画面情報作成処理

【図1】



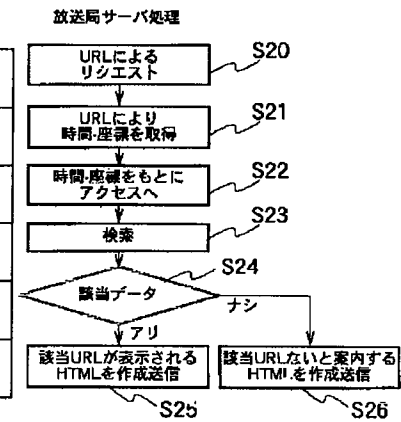
【図12】



【図2】

時間A	時間B	URI (メーカー)	座標 X2	座標 Y1	座標 X2	座標 Y2	優先順位	名称	課金
		AメーカーのURL BメーカーのURL							
19:18:22	19:18:25	www.jvc-victor.co.jp/DV	102.5	170.5	100.5	500.5	1	e-movie	125981
19:18:22	19:18:25	www.jvc-victor.co.jp/songoku	232.5	450.0	300.5	285.5	1	孫悟空	5487
19:18:26	19:18:40	www.jvc-victor.co.jp/phone	123.0	385.0	120.0	452.5	2	電話	74461

【図6】



【図5】

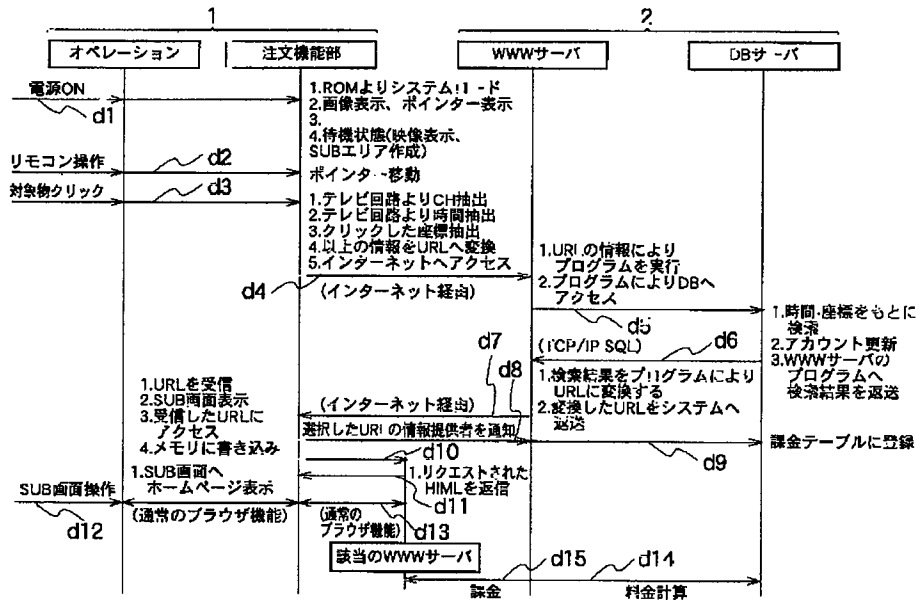
検索の概要

画面の映像

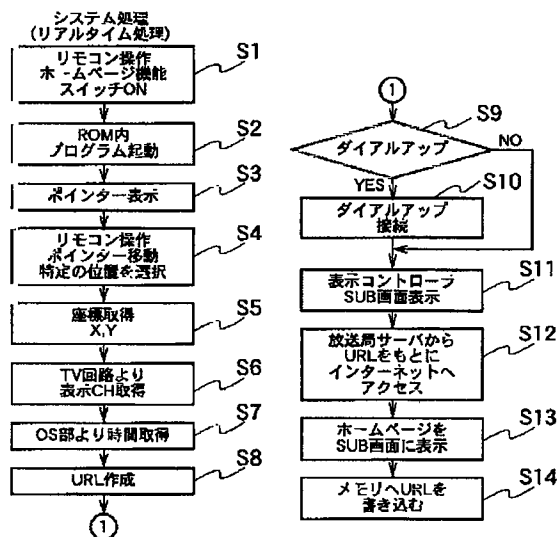


映像に対して二点間では方形の表して対象物の範囲とし簡略化する。
また、違う対象物の範囲が重なる場合、優先度をつけて検索を行う。

【図3】

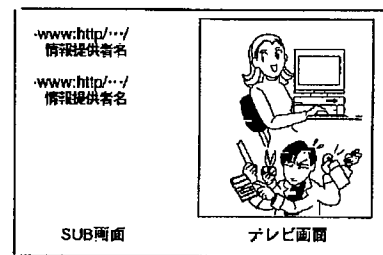


【図4】

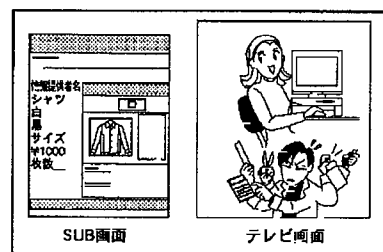


【図7】

(a)

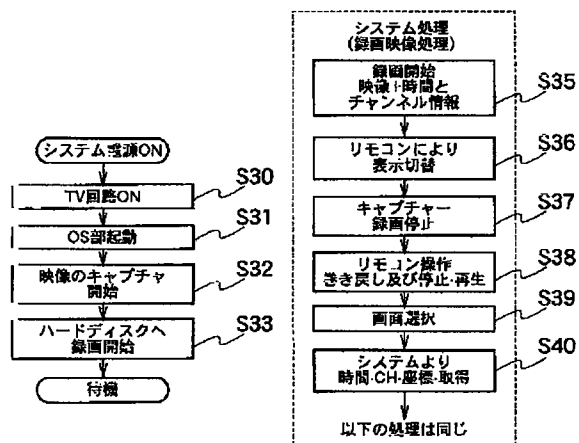


(b)

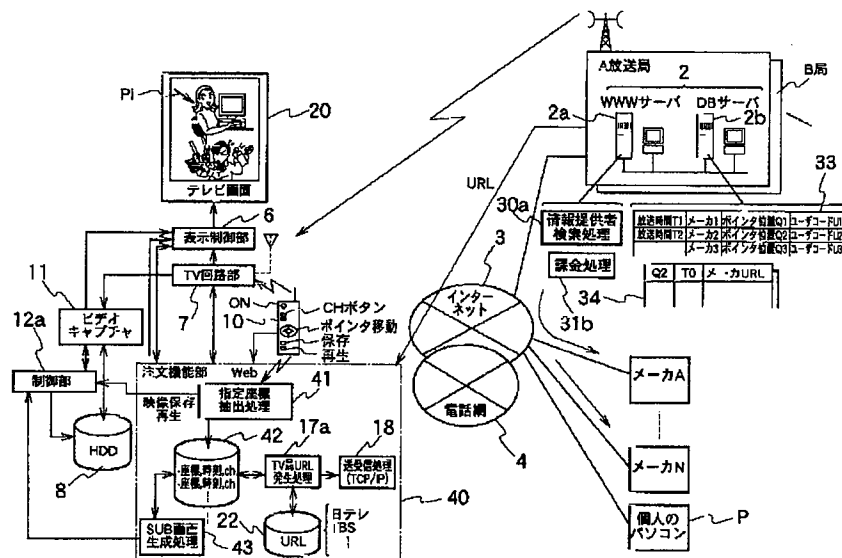


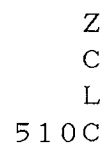
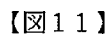
【図8】

ハードディスクを利用した部分のフロー(設定部分)



【図9】





F ターム(参考) 5C025 BA25 BA27 BA28 BA30 CA02
CA06 CB10 DA01 DA05
5C052 AA01 AB04 DD04
5C053 FA23 KA04 KA24 LA07
5C064 BA01 BB01 BB07 BC18 BC23
BC25 BD02 BD08 BD14